

を指摘し、ウイルスの拡大を防ぐ手だては、私たち自身の強い意志と行動のみであるという「ウィズ・コロナ宣言」を広めることの必要性を訴えました。

★人との間隔はできるだけ2mあけるといふ「ソーシャルディスタンス」は、地域経済へのダメージが大きいことを指摘しました。また、計画中の市民ホール設計への影響を質問し、ソーシャルディスタンスについては運用で対応し、計画どおり現状の設計のまま進めることが明らかになりました。



二見 新二 議員

★中小企業振興について、新型コロナウイルスの影響による中小企業に対する支援策と対応を確認し、大きく影響を受けた繁華街や飲食店への賑わいを取り戻すための市職員による段階的自粛の解放を大手企業や市民に促すための行動を求めました。

★学校給食の地元企業活用についての現状を確認し、さらなる地元食品業者への活用に関する方策を

検討するよう質疑しました。

★総務委員会において、公共交通の現状と新型コロナウイルス感染防止の対応と駒澤大学の現状と今後の方針について確認し、外国人のための大学ではなく、地元学生が多く通う魅力ある大学になるよう努めることを要望しました。



山谷 芳則 議員

★中小学校の行事のあり方について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった運動会を実施してほしいという保護者からの声が多数あることから、秋に実施してはどうかと提案しました。さらに、学習発表会も体育館内が3密状態になり感染リスクが高いことから、秋に運動会と学習発表会の内容を盛り込んだ参観日を、低・中・高学年に分けて実施してはどうかと提案し、分散での参観日の実施も選択肢の一つであると考えており、感染リスクを抑えながら保護者に子どもたちの頑張りを見せる場を設定できないかを検討すると答弁がありました。

市民派会

桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠 議員



谷川 芳一 議員

■一般質問

1. 市長の政治姿勢

(1) 東部開発およびRの今後の展開について

ラスベガスのあるネバダ州が全米一の失業率になりコロナに弱いことを露呈した。市でも観光入込客数などを調査し直さないか。

カジノはコロナなどに弱く、市民は不安に思っている。ゼロペーすで見直すべきではないか。

カジノは生活に密着せず、行政の支援は市民生活に先立つものではないと考えると思うがどうか。

苦東をダブルポートとして災害に強い立地環境を生かすべき。農業に積極的に取り組むべき。クルーズ船誘致の方針転換は。

(2) 青少年の健全育成について

ア・養育費不払いについて
先進自治体では保証会社に取り立てをお願いし、その料金を市が助成している。市も検討しては。

イ. 予防接種について

子宮頸がんワクチン4価のガーダシルは副反応で積極推奨しないが、今回9価のシルガード9の申請があり持ち回りWeb会議で審査された。この二つのワクチンは基本設計、成分が同じだが、なぜ一つは積極推奨しないのに、認可されようとしているのか。

取扱説明書には予防効果の持続期間は確立されていない。10代の子供に打っても死亡率が高いのは4歳以降、市の見解は。

重篤な副反応の原因がアルミアジュバントといわれているが、シルガードは倍量入っている。大丈夫か。

コロナ反対派が集まらないなか審査するのは疑問がある。今回の事態を見てもWHOは信頼できないのではないか。

ウ. 中高生の妊娠について

コロナで休校になり妊娠相談が増えている。苦小牧はどうか。今後相談が増える可能性があるのでもしっかり対応してほしい。

◇成人式について

苦小牧は時期をいつにするのか、発表のスケジュールは。